

## WAからのお知らせ



### 〈わ〉に入会しませんか

3年生の皆さん、〈わ〉に入ってボランティア活動をしませんか。1月21日の説明会に続き、ふれあいホールで入会勧誘を行っています。勧誘期間は、1月23日～31日と2月7日。年会費は1人1,500円です。今年も東北支援活動を継続するほか、各サークルと協力して各種のイベント、学習支援活動などを幅広く展開します。卒業後の人生をより豊にするために、〈わ〉の仲間に加わって下さい。問い合わせは〈わ〉事務局（743-8101）まで。

#### 訃報



グループ〈わ〉役職員交流会会長の郷肥三（こう・ともぞう）さん（福祉9期）が11月2日、上郡町の国道で車を運転中に大型車と衝突、死去されました。享年76。葬儀は4日、姉の姫野五百子さん宅（尾道市因島）で営まれました。

「ボランティアは楽しい」が郷さんの口ぐせで、2007年から理事長を2期務め、一ノ谷プラザの運営事業などグループ〈わ〉の発展に寄与されたほか、賀川豊彦記念館の語り部、電話相談員など、さまざまな活動を続けてこられました。ご冥福をお祈りします。役職員交流会会長は当分の間、幹事の上田市夫氏（生10）が代行します。

●**学園祭から8万円寄付** 学園祭実行委員会からこのほど、「5万円は東北支援活動費として、3万円はその他の活動費に役立てて欲しい」と、計8万円の寄付がありました。清水・水越学園祭総合実行委員長には、堺理事長から「大切にに使わせていただきます」と謝意が伝えられました。

●**ボラセンから5万円** 入学式・学園祭で、グループ〈わ〉と共同で実施した東北支援募金の一部、5万2千円が〈わ〉に寄託されました。賛同して下さいましたKSCの皆さまにお礼申し上げます。

●**滝谷ホームの見守り** 軽度知的障害者グループホーム・滝谷ホーム（長田区滝谷町）で、夜間、入寮者のお手伝いを募集中。月・水・金は20時～9時。土は17時～9時。交代制で1人月1～2回担当。1回6,800円～8,000円の手当があります。問い合わせは堀内昭（食6）電話592-9297まで。

●66号（4月号）の発行は2014年4月中旬です。

### 戦争体験を語り継ぐ道

つばき

「神戸大空襲」をテーマにした学習支援委員会語り部チームによる出前授業「戦争と平和学習」は2学期がピーク。メンバー6人が手分けして市内の小学校を回って戦争の恐ろしさを伝えていく。授業は「空襲の最中、焼夷弾攻撃で火の海となった神戸の街を必死で逃げ回った」体験談と、「空襲を避けて親元を遠く離れた田舎で過ごす集団疎開」の話を中心に、第2次世界大戦の実態を映像とともに解説している。

児童は興味津々の様子で聞いてくれ、「防空壕は安全なの？」「焼夷弾の威力は？」「疎開先では何を食べていたの？」といった質問が次々に飛び出す。スタッフも思わず力が入り、児童と真剣に向き合うひと時だ。

戦争の悲惨さを少しでもわかってくれる児童が増えることは嬉しいが、世の中、高齢化が進んで児童の祖父母ですら戦争を知らない世代が大半を占めるようになった。風化してゆく大戦の記憶や体験、史料を、次代に語り継ぐ妙案はないものだろうか。（学習支援委員、加藤勇治）

### 編集後記



★あけましておめでとうございます。70歳の17期生がマラソン完走、記念に東北支援カンパ。女川の中学生たちが奔走、1千万円集めて震災の碑を建立…聞いてびっくり、じぇじぇじぇ！ 65号は心温まる話題2つ取材しました。東北の子供たちから、かわいいXマスカードも届きました。学用品プレゼントの輪が広がっています。（南形徹）

★「部会は知ってるけど、区会って何？」との声が聞かれる中、5区会から活動報告が届き、充実した「れぽーと」になりました。ラリー・親睦会・バス旅行・東灘検定。「区会って、こんなことやってるんだ。楽しそう！」と思っていただく良い機会になったのではないのでしょうか。（井口久美子）

★戦争体験をした語り部たちが小学校6年の社会科「戦争と平和学習」の時間に体験談を話し聞かせる場に参加しました。焼夷弾爆撃、学童疎開などの話を聞いた子どもたちは、現在の平和の尊さが実感できたようです。彼らの未来が平和であることを切に願いました。（北村洋）